



2024年7月 第762号

# 教会だより

カトリック甲府教会 月報

〒400-0032 山梨県甲府市中央2-7-10

Tel / Fax 055-237-2531 <http://catholic-kofu.com>

編集・発行 カトリック甲府教会 広報委員会

## 「<sup>あらし</sup> <sup>なか</sup> 嵐 <sup>たの</sup> 中でイエスにより頼む」

教皇フランシスコは、6月23日（日）、バチカンで正午の祈りの集いを行われた。

年間第12主日、教皇は祈りに先立つ説教で、この日の福音朗読（マルコ 4,35-41）、イエスが湖上で突風を静めるエピソードを取り上げられた。教皇の説教の要旨は次のとおり。

今日の福音は、イエスが弟子たちとティベリアス湖で舟の上にいる時のエピソードである。突然の嵐によって、舟は転覆しそうになった。眠っておられたイエスが、起き上がり、風を叱ると、すべてはまた穏やかな状態に戻った（参照 マルコ 4,35-41）。

その日の夕方、舟に乗って「向こう岸に渡ろう」と弟子たちに言われたのは、イエスご自身である。彼らはベテランの漁師であり、そこは慣れ親しんだ場所であった。それにもかかわらず、突風が彼らを困難に陥れた。まるで、イエスが彼らを試されたかのようなようである。

その間にも、イエスは彼らと共に舟におられ、落ち着いて、いや、それどころか、眠っておられた。嵐が吹き荒れる中、イエスはその存在によって彼らを安心させ、励ましながら、もっと信仰を持つようにと促し、危険の外に連れ出した。なぜ、イエスはこのような態度をとられたのだろうか。

それは、弟子たちの信仰を強めるため、彼らに勇気を与えるためである。実際、弟子たちはイエスの力と、イエスがそばにおられることをより知ることになり、それは福音宣教上の危険への恐怖をも含む、多くの障害や困難に立ち向かうための、強さと心構えを彼らに与えた。弟子たちは、イエスと共にこの試練を超えたことで、これからもすべての人に福音をも



たらすために、十字架と殉教に至るまでの、多くの困難に立ち向かうことができるようになるだろう。

イエスは、わたしたちも同じようにされる。特にミサにおいて、イエスはわたしたちをご自分のまわりに集め、御言葉を与え、ご自身の御体と御血で養ってくださる。そして、わたしたちが聞いたこと、受け取ったものすべてを生活の中で皆に伝えるために、わたしたちに沖へ漕ぎ出すようにと励まされる。わたしたちはイエスの助けによって、よりイエスのもとに固く一致し、その力に信頼することを学ぶだろう。

ここで自問しよう。試練の時、これまでの人生で主の存在と助けを経験した時のことを思い起こすことができるだろうか。何かの嵐がやって来た時、動揺するだろうか、それとも落ち着きと平和を取り戻すために、祈りと、沈黙、御言葉の傾聴、礼拝、信仰の分かち合いの中で、イエスにより頼むことができるだろうか。

神の御旨を謙遜と勇気をもって受け入れたおとめマリアよ、試練の時、神に委ねることの平安を、わたしたちに教えてください。(バチカンニュースhpより抜粋)

## 第20回 横浜教区 高校生大会

横浜教区青少年委員会は下記の通り高校生大会を合宿形式で開催します

日 時：日時：2024年8月12日(月)～14日(水)

第20回

### 横浜教区高校生大会

主催：横浜教区青少年委員会



テーマ：「タカラダカラ」

日 時：2024年8月12日(月)～14日(水)  
場 所：横浜雙葉学園中学高等学校  
対 象：高校生  
参加費：8000円  
申し込み：QRコードより必要事項を記入してください。



※申し込みはこちら

会 場：横浜雙葉学園中学校高等学校(横浜市中区山手町88)

対 象：高校生

参加費：8000円

主 催：横浜教区青少年委員会

担当司祭：鈴木真神父(山手教会) 保久要神父(雪ノ下教会) 谷脇慎太郎神父(横浜司教館)

申 込：QRコードからアクセスし申込フォームに必要事項をご記入ください。

締め切り：7月31日(土) 厳守!

問 合 せ：教区青少年委員会 E-mail: youth3yokohama@gmail.com





# おしらせ



## 1 きょうかいいいんかい 教会委員会

7月14日（日）11：30～サンタルチア講堂にて教会委員会が行われます。  
※当日参加できない場合は、代理の方に出席をお願いしてください。

## 2 ほちかんりいいんかい 墓地管理委員会

墓地の共同清掃について

毎年、多くの皆様のご協力をいただいております、ありがとうございます。

暑い中での作業となり誠に恐縮ですが、本年も引き続きよろしくお願ひします。

なお、コロナの感染状況により中止の可能性もあります。

・7月27日（土）15：30～17：30

雨天の場合は、8月3日（土）同時刻

問い合わせ 木村 090-8031-9608 宮澤 090-1808-9718

## 3 よこはまきょうくいちりゅうかいだいかい 横浜教区一粒会大会のおしらせ

◇テーマ「わたしたちについてきなさい。人間をとる漁師にしよう」（マルコ1.17）

一粒会は、司祭の召命と成聖のための教区の事業に協力することを目的とします。

◇日時 2024年10月14日（月）スポーツの日

12:00～15:00（11：00から受け付け開始）

◇会場 カトリック松本教会 住所 長野県松本市丸の内9-32

・会場である松本教会の収容人数が約140人と手狭のため、各地区（16地区）ごと参加上限を司祭を含め5名とさせていただきます。

・当日は YouTube にて大会の様子を配信いたします。一堂に会することはできませんがそれぞれの地でこころをあわせていただければ幸いです。

※YouTube のアドレスは後日お知らせいたします。教区ホームページにも掲載いたします。山梨地区の貸切バスはございません。個人参加にてお願いいたします。

大会参加希望の方は、一粒会山梨地区本部委員 今井 繁までお願いいたします。

(josemaria.shige@gmail.com)

## 4 ちいきふくしいんかい 地域福祉委員会

毎月第1日曜日 9：00～教会の庭等の草刈りを行います。ともに活動していただける参加者を募集しています。

2024年 平和旬間「長崎の鐘」上映会と祈りの集いを開催します。お知り合いの方々をお誘い頂き、ご参加頂ければうれしく存じます。

1. 日時 2024年8月11日(日) 13時～15時
2. 会場 甲府カトリック教会 サンタルチア講堂
3. 上映する映画 「長崎の鐘」
4. 定員 50名
5. 申し込み方法：センター入口の掲示板に申込用紙へのご記入又は地域福祉委員会事務局(木村 090-8031-9608)までお願い致します。

※映画「長崎の鐘」1950年松竹作品、長崎で被爆した放射線医師 永井隆博士の著作「長崎の鐘」の映画化、藤山一郎のヒット曲「長崎の鐘」は、現在も多くの人々に歌い続けられています。永井博士のカトリック教徒としての信条「医師は病人のためにあるように真の宗教は、心の癒しを求める罪人のためにある」、「愛は隠れて行うもの」ということが全体に著された作品である。また、占領下で反戦・反核を写し、「いのち、そして平和の尊さ」を訴えた「不滅の愛」の映画です。

5	きずな <sup>かい</sup> の会		お休み
6	てんれいいんかい 典礼委員会	7月20日(土)	9:30 ~ センターホール
7	ほちかんりいんかい 墓地管理委員会	7月20日(土)	11:00 ~ センターホール
8	ちいきふくしいんかい 地域福祉委員会	7月21日(日)	11:30 ~ サンタルチア講堂
9	ほちせいそう 墓地清掃	7月27日(土)	15:30 ~ カトリック教会墓地
10	こうほういんかい 広報委員会	7月28日(日)	11:30 ~ センターホール



## サンタルチア講堂

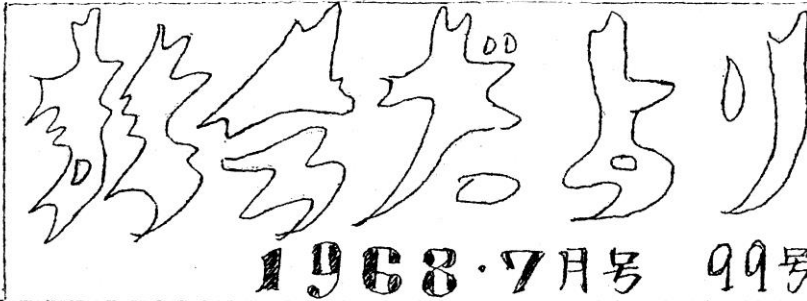
「1956年12月15日甲府教会においても信者の大きな集会場としてサンタルチア講堂が完成。この講堂の建設費用は、イタリアの信者から特別に集められた献金によるものであった。このようにイタリア人の祈りと犠牲の協力によって県内各地の教会施設は整備拡張されていった。」「特筆すべきことは富士吉田教会の古い建物の解体に甲府刑務所が2週間受刑者を派遣して協力してくれたことである。現在のサンタルチア講堂は、その時の材料で建てられたものである。」

(山梨県カトリック宣教100年誌より抜粋)



# 「1968年発行教会だより」

信徒様から貴重な資料提供していただきましたので掲載いたします。  
56年前の「教会だより」です。(この完成度には感服いたします。広報委員会 編集部)



甲府カトリック教区  
 甲府市中央二丁目  
 7-10  
 TEL(33)6282  
 振替(甲府)610  
 甲府カトリック教区

## 信者としての在り方

チエリツザ神父

今日は皆さんに告白したいことがあります。最近折をみて信者の家庭訪問をしています。途中で帰ってしまうことがあります。もし断られたら……、呆り負担になるのではないかと……邪険になつてはいけない……いやな思ひを起させたら……、等という心配が次々に私の心に浮んで来るのです。ところが教区から遠ざかった信者を訪ねた時、呆り其こばない方といれば、とても比こんでくれる信者もいるので、こうした訪問が、彼等にとう一度教区に戻る機会を与えることになる。したら、遠慮なく、みんなを訪ねるべきではないかと反省してみます。

あなたは卑怯ではないかと云う良心の苛責を時々感ずることがあります。『九十九匹の羊を野原において、いなくなつた一匹を見出すまで……』探し歩くよい牧者の姿に対して私は非常に恥かしく思います。自分がやっていることが善の意向から出たものであるなら、成功するか失敗するかを、おそれずに色々な方法でやるべきではないでしょうか。結局、自分がやるのが自分の為でなく、神の為であるならその結果如何は全て神のみ栄え、神のみ旨にあるわけです。そしていつか必ずよい結果が生まれるでしょう。我々信者は我々の信仰の信念と良心に叶つたよりよい生活を送らねばなりません。家庭生活に於て社会生活に於て、教区の一員として我々の信仰の信念と証明とをどの様に現わしてゐるかを考えてみたら、きっと面白いことを発見するでしょう。

日曜日のみサに与つたことと、思い出した時に何かのお祈りをしたこと、又維持費を収めたことと、めで信者のつとめを果したと思つたら間違いで

## 56年前の「教会だより」

す。日常生活に於ても自分のことと、自分の家庭のこととを考へて生活を送つたり果してこれは信者の生活と云えるでしょうか。自分と自分の家族の爲には勿論ですが、他人と社会と教会の爲にも自分の力と能力を生かすことは公衆議後の信者の本當の姿と云えるでしょうか。信者のお父さんは家庭の幸福の最高責任者として就寢前に妻子と共に家庭祭だんの前で祈りによつて家庭の一致を深めるでしょうか。会社に於て色々な問題に対してもおそれることなく信仰に基いた自分の意見を述べ伝えることも眞実と正しい態度を示して皆に対してキリスト教的な親切なくもいます。

信者のお母さんは自分の子供らの爲に学向的又社会的教育の心配をなくそれよりも先ず宗教的な教育を大事にし、教会の幼稚園と日曜学校と夏季学校に子供を加へることにいつも心がけるでしょう。又隣近所の人に模範的な生活をとつてキリスト信者の家庭の平和とよろこびと美しさを感ぜさせるのです。又奥さん達の井戸端談話に於ても、明るい言葉で希望と慰さめを云うことをおそれないでしょう。教会へ来られなくなった信者の友達を知つたり、自分と心を砕いて何かの持込へ教会の連

絡、新聞、パザールの協力等)で訪ねて教会の代りを運んであげるのである。

この頃信仰の忠実について色々理論がのべられていますが、自分の信仰に対して、いつも心実である爲に、先ず他人の信仰の成長の爲に、協力し、働くこと一つのよい方法だと思ひます。

『行いのない信仰は魂のない体と同じ様に死んだもの』なのです。

自分の爲夫によい人間であつても皆の爲によい人でなければよい信者とよばれません。皆と一緒に自分にも責任があることを考へて、皆の爲、教会の発展の爲に協力することは、当り前のこととよい信者は考へているのです。私一人位やらなくても皆がやってくれるだろうと云う無責任なことは許されません。皆、自分の力とが能力とが身分に心して何かするのは大事なこととめななのです。今秋のパザールにしても、各ケルプ(壮年、マリア、青年会)に於てパザールの成功に一人一人が努力したなら、自分自身の信仰をつよめる爲と、信者の親睦の爲と教会の布教の目的の爲に一番立派な働きとなるでしょう。又教会に来て元氣によろこぶのうちに皆と力を合せて働いたり、楽しい一時を過ごすことは何よりも望ましいことだと思ひます。



## 56年前の「教会だより」

聖堂に於ても目立たない様にすみこにいた  
り、元気な声で祈り歌うのをおそれ、ミサ後  
誰にも挨拶せむに帰つてしまふ信者は果して  
よい信者と云えるでしょうか。  
我々は皆キリストの神秘体につながる一員とす  
正しく信じたことには積極的にぶつかり、神の  
御心の御栄えの爲に益々努力いたしましたよう。

## 教会委員会公報告

去る五月七日各委員出席のもとに左記の  
件についての話し合いが行なわれまゝたので  
概略を御報告申し上げます。

(一) 教区下水道工事、お手洗改造の寄附の件  
いろいろ考えた結果、すでに皆さま御承知  
の通り伊井栄様に御足労をお願いし、各信  
者家庭を訪問して御力を頼うこととし  
目下のところ数名の方々より寄金を得ており  
尚目標額に達するようこれから皆さまの御  
力をお願いする。

(二) バザーの件

昨年、一昨年は行わなかつたので献品もある  
程度望めるのではないが、但し委託販売品  
は時節柄、業界の力を得ることはむす

かしい。又過去のバザーの主な利益源たる有料  
入場券については事実上一部の信者の負担太  
に留まり多数の参加力を得ようというバ  
ザー券本来の意義から外れる加能性が強い  
との理由で本年度は発行しない。会場につ  
いては従来までサンタルチア講堂を本会場と  
していましたが一般の方が立ち寄りやすくなる  
爲開放的な庭を主な会場にしてはどうか  
との話も出ました。献品については現在、マリア  
母の皆さまが手製による献品に着手してい  
る。それにしてはバザーの目的は「より多くの信  
者と一般の参加力を得て神の子兄弟と  
して楽しい交歓の一日を作り、ひいては親睦  
一致の家族を育てよう」という神さまの思召  
を実現することです」という神父さまの御意  
向を生かせるよう一人でも多くの方々の奉仕  
をお願いする。

(三) 墓地の件

小野信三様から寄附金と借入金返済状  
況について簡単な報告があり尚次回には  
会計の整理された報告がある旨話があった。  
四 キャンプについて

詳細については七頁に記載されていますの  
で参照して下さい。

## 幼児洗礼

6月9日 ジャイメ コーリョ神父様司式のミサの中で幼児洗礼式が行われました。  
アイコ デカマルゴ ミノダちゃん（1才4カ月）おめでとうございます。



## 入信式

6月16日ミサ後、芹沢神父様司式にて入信式が行われました。  
タチアナ サントス かたひらさんおめでとうございます。







## 今月の教会カレンダー（典礼暦・外国語ミサ・行事等）



7月 5日（金）	はつきん 初金	9:30	ミサ
7月 7日（日）	ねんかんだい しゅじつ 年間第14主日	10:30 14:00	ミサ ベトナム語ミサ（tiếng Việt）
7月 14日（日）	ねんかんだい しゅじつ 年間第15主日	10:30 15:00	ミサ （教会委員会） ポルトガル語（Português）
7月 21日（日）	ねんかんだい しゅじつ 年間第16主日	10:30 12:30	ミサ 韓国語ミサ（한글）
7月 28日（日）	ねんかんだい しゅじつ 年間第17主日	10:30 14:00	ミサ 英語ミサ（English）
8月 2日（金）	はつきん 初金	9:30	ミサ
8月 4日（日）	ねんかんだい しゅじつ 年間第18主日	10:30 14:00	ミサ ベトナム語ミサ（tiếng Việt）

月定献金振込先（教会維持費）

山梨中央銀行 本店営業部 普通預金 188674

墓地・納骨堂管理費振込先（毎年1月～5月中に）

山梨中央銀行 本店営業部 普通預金 1402890

受取人（宗）カトリック横浜司教区甲府カトリック教会

